

新型コロナウイルス感染症による影響調査（集計結果）

感染再拡大の不安の中、Go To トラベルをめぐっては、再び自由な移動の制限が懸念されております。感染再拡大により「札幌市・大阪市」を目的地とする予約受付の一時停止が決まり、皆様の施設においても大きな影響が想定されます。つきましては、組合員施設の現況を把握するため、調査を実施いたしますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、集計データについては、数字のみ活用し、施設名は公表いたしません。また、ホテル組合ではホームページに関連情報を掲載しておりますので活用下さい。

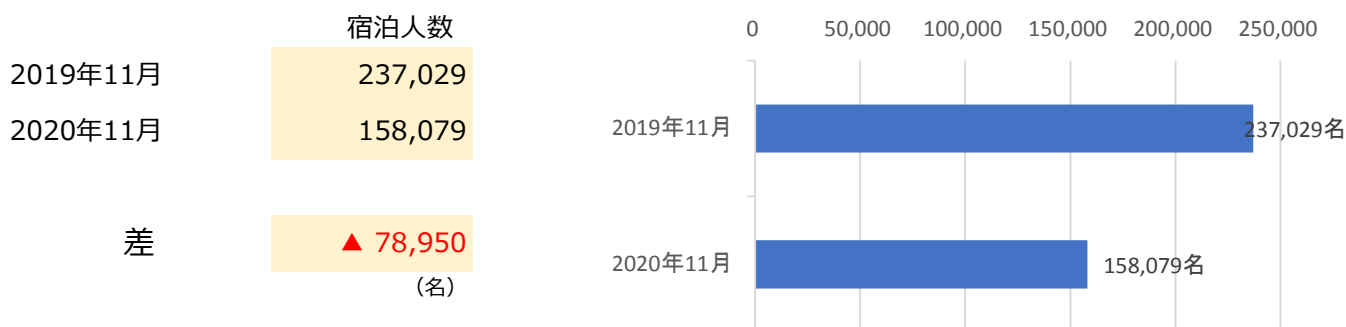
令和2年11月 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

調査対象：297軒 うち回答：42軒（回答率 14.1%）

1. 11月の状況について（前年対比）

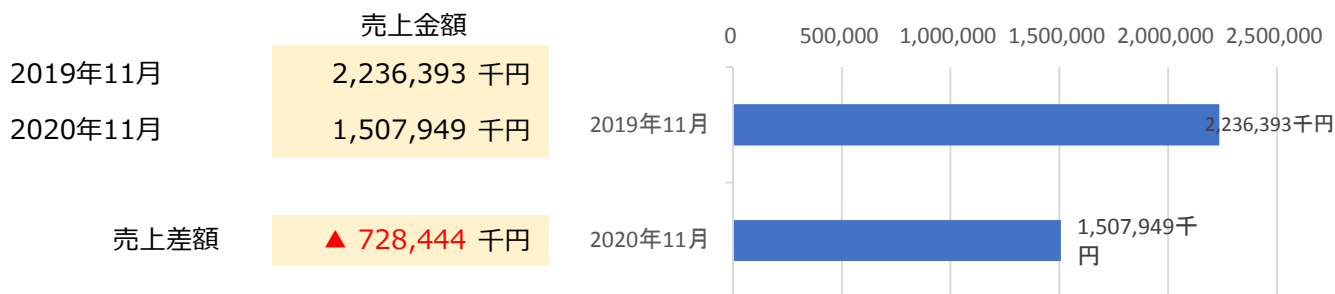
① 宿泊人数について

（単位：名）

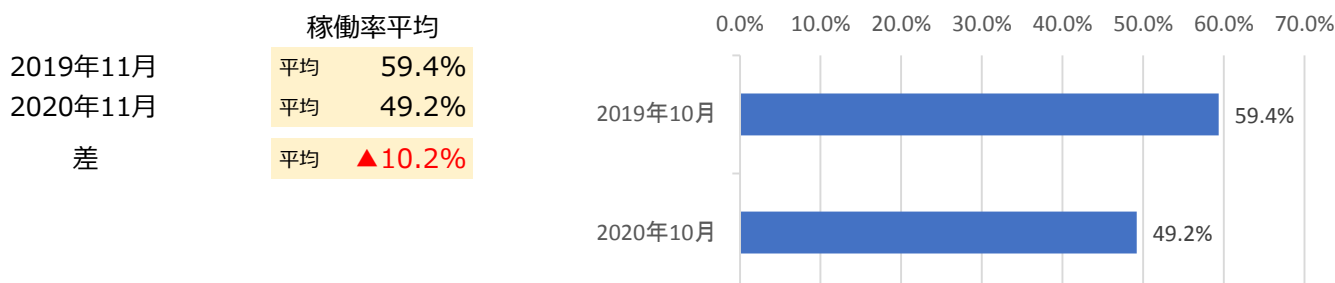


② 売上について

（単位：千円）



③ 稼働率について



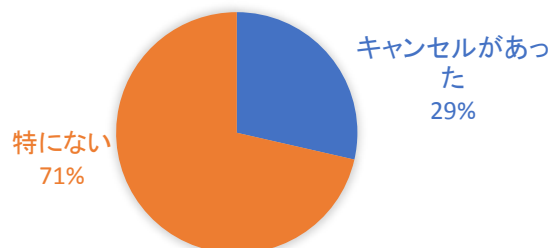
2. 12月以降の動向状況をご記入ください。

- ・新規予約件数が減少。首都圏地区の感染拡大もあり旅行マインドは低下していると思われる。今後の動向も不明確であり現状に変わらない場合は年末年始にも影響を及ぼすことが予測される。那覇市内ホテルはリゾート地区や離島地区ほどGo Toの恩恵を受けておらず需給バランスの崩れにより価格競争が激化。県内忘年会の状況は自粛傾向にある事や、県からの4名以上に対する発表もあり前年を大きく下回る。
- ・12月全体としては前年比▲12.3%の稼働。一般団体旅行が前年比半減以下（35%）修学旅行も前年比半減以下（27%）年末年始は動きがあり、忘新年会は見込みなし。2月以降は動きなし。
- ・当初の予約ペースは好調であったが11月中旬以降新型コロナ感染者数増加に伴いブッキングペースは鈍化。又AGTパッケージ商品のキャンセルチャージ発生機関に近づき、年末年始のキャンセルが増加傾向にある。
- ・12/31～1/1は高稼働70%、前後は50%程度で動きも弱い。12月稼働は前年同日比60%、1月稼働は前年同日比約40%、2月以降はかなり弱く前年同日比約10%となっている。
- ・12月初旬～中旬までは厳しいが、クリスマス以降から正月までは現時点で40%ほど予約がある中小規模小規模の宴会、模合などがほとんどキャンセルになった。
- ・修学旅行1校受入れ有り。忘年会の予約も、沖縄県コロナ感染増加に伴い取消が発生している。12/26～年末にかけて、スポーツ団体の受入れもあり稼働が高くなっている。
- ・忘新年会・懇親会など、人が集まる宴会が軒並みキャンセルとなっている。修学旅行がほぼ壊滅的な状況で取消・延期が続いている。現在は年末年始のみ動きが激しい。
- ・年末年始のみ稼働は良いが、昨今のコロナの影響でキャンセルが多発しないか懸念している。料飲関連は忘新年会のキャンセルが多発しており全て取消になりそうな状態。
- ・昨年までは年末年始は家族連れでほぼ満室でしたが、今年はダイビングの予約は昨年並みだが家族連れ予約が少ない。現在のところ満室日なし。
- ・昨年対比は良い。
- ・週末及び12/25～12/末は8割以上予約。平日は12/13～6割予約。
- ・修学旅行も忘年会も予約なし。
- ・1月～3月で修学旅行取り消しが発生している。
- ・工事の方々により宿泊者が安定した。例年3泊される学校からキャンセルがあった。（18名）
- ・修学旅行全てキャンセル（1400名）。忘年会は予約が入ってこない。
- ・札幌・大阪一時停止後は予約の伸びが止まり微増・微減を繰り返している。
- ・年末年始を中心に受注が伸びていたものの、キャンセルが相次ぎ失速している。
- ・特別団体予約は無いが、50%超えの日が徐々に増えつつある状況。
- ・コロナの影響からか忘新年会の予約等はなし。
- ・レストランにて、忘年会など予約なし。年末年始以外の予約は非常に厳しい状況である。
- ・レストランでは忘年会のキャンセル続出。年末年始にかけ予約キャンセルが出て来ている。
- ・12月以降も落ち込みが続いている。
- ・年末年始のみ動きがあり、忘新年会の予約は一切なし。当月でどれだけピックアップできるかで決まる。
- ・年末年始のみ稼働状況が良い。（70%前後）忘新年会は大型のものはなく、少人数の予約のみ。
- ・年末年始のみ高稼働で推移。12月～1月平日の動きが弱い。
- ・年末年始のみ予約が入ってきている。忘新年会はなし。
年末年始のみ例年通りの予約状況です。それ以降はほぼない状況です。
- ・現時点では、年末年始のみ高稼働（80%以上）
- ・年末年始のみ、稼働が良い。（他10軒、同コメント）

3. Go To トラベル「札幌市・大阪市」を目的地とする予約受付の一時停止によるキャンセルがありましたか？

キャンセルがあった
特になし

12軒
30軒



【コメント】

- ・特に多くはないが、キャンセルが増えつつある。
- ・その影響を受けて、修学旅行がキャンセルになった。
- ・10月平均20件/1日のキャンセルが、以降40件/1日に増加。
- ・札幌市・大阪市発のゲストよりお問い合わせが2～3件ある。地域不明のキャンセルは12月で10件ほどある。
- ・大阪市・札幌市からのキャンセル数は増加傾向。東京発65歳以上のGo To自粛も今後は影響が出るのでは。
- ・Go To トラベルの割引率を「平日高め」「休日低め」にしてもらいたい。（コロナ対策、人員配置、など平均的稼働になるようにしてほしい）
- ・目立った動きは見受けられないが、水面下でキャンセルになっているかもしれません。
- ・キャンセルはあると思うが確認してはいない。
- ・元々稼働が低いいため影響は少ない。
- ・大きな動きはない。

4. お客様の申告により、体調が懸念される方たちへの対応はどのようにされていますか？

【フロアをわける、専用部屋へ案内】

- ・入口にはサーモカメラ及び非接触型体温計などで検温している。万が一体調不良の懸念されるお客様がいる場合はフロアをわけて対応予定。
- ・隔離フロアを予め決めておき、そちらへお部屋変更をする。その後は保健所の指示に従う。
- ・隔離用の客室あり。発熱があれば保健所等へ対応を相談。ガイドラインに沿って対応。
- ・フロアをわけた隔離できる部屋を用意して対応（詳細はガイドラインに沿って）
- ・稼働状況等によるが可能であればフロアをわけて対応。体調急変などフロントへの連絡・相談をご案内している。
- ・可能ならフロアをわけ少なくとも他のゲストとは部屋は離している。
- ・ガイドラインに沿って保健所の指示を仰ぐようにしている。今日現在まで、対象のお客様の発生はない。発生した場合は、時間帯にもよるが分けるよう対処する。
- ・特に発生しておりません。基本的には部屋に隔離、保健所へ連絡・相談します。
- ・今のところ申告はないが、あった場合は保健所への連絡後フロアをわける。
- ・なるべく周りにアサインしない。
- ・フロア、客室をわける。（他同コメント10軒）

【部屋で待機、保健所へ指示をおおぐ、お部屋でのお食事の提供】

- ・体温37.℃以上の場合は特別室（隔離部屋）へ案内し、外出は控えていただき食事は客室内で対応。お客様の同意後、（優先①）新型コロナウイルスセンターへ連絡、（優先②）中部保健所へ連絡、感染症確定の場合は保健所の指示に従う。
- ・インフルエンザと同様。部屋から出ない様伝える。
- ・保健所へ連絡し、病院へ案内。清掃は入らない。フロントをわける。
- ・保健所へ連絡をして支持を仰ぐ。自身の部屋で待機又は人のいないフロアに移動。
- ・各部屋へ待機していただき自身で保健所へ連絡し、支持を仰ぐ。
- ・出来る限り外出を控えるように協力依頼。発熱がある場合は保健所に連絡を入れ支持を仰ぐ。
- ・実際にはまだ発生はないが、宿泊部屋での待機を依頼する事にしています。
- ・同タイプの部屋を用意してご案内。お部屋でのお食事の提供。
- ・レストランでの食事を部屋食にいただいている。本館への入館を避け客室での対応をしている。
- ・特に体調の悪いお客様の来館は無いが、対応としてはすぐに保健所に連絡ができる体制を整えており客室から外には出させない。
- ・保健所の指示があるまで、部屋で待機させる。
- ・客室から出ないよう案内。
- ・客室にて待機してもらっています
- ・空き部屋で待機していただく。

【その他】

- ・感染疑いのお客様がご宿泊の場合は一般ゲストから離れた客室へご誘導したりチェックイン前であった場合はご宿泊を取り消していた場合も想定している。
- ・熱がある場合は宿泊をご遠慮いただくフローです。

5. 新型コロナウイルス感染症の影響で、従業員の出勤形態にどのような変化がありましたか？

【雇用調整助成金を活用、出勤を減らしている、人員削減】

- ・1日の出勤人数の制限に加え、短時間労働へ変更しております。
- ・シフトの時間帯によっては、出勤を減らしている従業員もいる。
- ・稼働状況があまり芳しくないで出勤を半分程度にせざるを得ない部署もある。
- ・稼働率に応じて出勤を減らしている。
- ・規程の休みとは別に、コロナによる休暇を週に1日追加している。
- ・休業体制を引き、出勤人数を削っている。
- ・休みを通常より多めに取ってもらっている。
- ・休業が増えて、残業がなくなりました。
- ・一部の部署において調整休日を設定している。
- ・月に3日～10日以上は休業で従業員を減らして対応。
- ・今まで消化できなかった有休をなるべく使うようにしている。
- ・宿泊予約状況により人員配置を調整。又は、時短勤務が続いている。感染症拡大前よりアルバイト社員の出勤時間は2割～3割ほど減少している状況である。
- ・従業員数を減らしている。
- ・出勤を減らさざるを得ない→休業扱いとしています。
- ・出勤を減らし、休業補償を対応。
- ・出勤を減らしたり、休んでもらったり。
- ・出勤を数日減らしている。
- ・出勤を半分以下に減らしている。
- ・出勤を半分にしている。部署によっては、ひと月ほぼ休みの従業員もいる。
- ・正社員・パート共に出勤日数を減らしている。
- ・全休3割、半分出社7割
- ・部署ごとに、稼働状況に合わせて休業調整を行っています。（～12月）
- ・夏期に冬期分の余裕を取れなかったため、従業員の出勤を減らして対応している。
- ・出勤日数が減った分は雇用調整助成金を活用。
- ・やむを得ず人員削減を行った。

【特に変更なし、通常勤務に戻している】

- ・出勤状態は特に変更ありません。
- ・特に変わりはありません。
- ・以前は助成金を活用し、特別休暇等を与えていたが、現時点ではほぼ通常出勤体制となっている。
- ・一時、出勤が半分だったが現在は通常通り出勤している。
- ・夏までは制限していたが、現在は通常勤務に戻している。

【その他】

- ・アルバイトの募集は現在停止しています。
- ・毎日の検温の義務化、体調が優れない場合は出勤前に連絡を入れ支持を仰ぐ。
- ・緊急事態宣言のあった5月・6月は全館休業。7月以降は稼働率に合わせた休業で雇用調整助成金を申請し、11月以降は今のところは大きな影響はなし。リモート会議が増えた。
- ・日々の健康チェックを実施。ガイドラインに沿ってお客様と接していますが、稼働率によりギリギリでの出勤数としている。現場重視の中、リモートでの就業ができないのが実情。

6. ご意見・ご提案・今後の要望などがあれば自由にお書きください。

- ・県内容を取り込む助成プランの取り組み（那覇とま～るクーポン事業）を再度して頂きたい。
- ・那覇とま～るクーポン等の宿泊者への補助を早急にお願ひしたい。県民だけでも動いてもらわないと、ホテル業界は無理な気がしています。
- ・コロナ感染防止対策実施への補助金拡大と迅速化を望む。
- ・3月への不安はあるがGo To Travel事業の東京発除外や沖縄除外は望まない。2月以降できればGWまでのGo To Travel事業の延長希望。
- ・Go To キャンペーンを継続させるためにも旅行客に対してのより一層の体調管理の徹底と万が一の場合は速やかに旅行を中止するよう呼びかけを行ってもらいた。旅行中止の場合の取消料の減免措置や人数変更がスムーズに行われるよう旅行社・OTAなどへの協力依頼。